［募集代理店］ 株式会社みずほ銀行

ワンダフルライフ

変額個人年金保険Ⅱ型2003
＜15年運用コース＞

特別勘定の月次運用レポート
2026年10月末現在

〇市場概況
〇特別勘定の運用状況
〇組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険の投資リスクについて

●本商品は、年金額や解約払戻金額等がファンド（特別勘定）の運用実績に基づき変動するしくみの変額個人年金保険です。
●ファンド（特別勘定）の主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあり、ご契約者はこれらの投資リスクを負うことになります。
●したがって、運用成果によっては、お受け取りになる年金や解約払戻金等の合計額が、一時払保険料の額を下回る場合があり、損失が生じるおそれがあります。

ご契約者が負担する費用等について

ご契約期間中には、以下の費用をご負担いただきます。

●契約初期費用　：なし
●保険契約関係費用　：資産残高に対して年率2.37%（消費税対象外）
●運用関係費用　：信託財産に対して年率0.33%（税抜0.30%）程度
●年金管理費　：受取年金額の1.0%（消費税対象外）
●解約時費用　：ご契約日（増額日）から7年未満の解約・一部解約では、解約控除対象額※の最大7%が解約控除額として差し引かれます。

●本商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約時費用」がかかります。

※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

［引受保険会社］ オリックス生命保険株式会社
本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。
（管）ORI-088

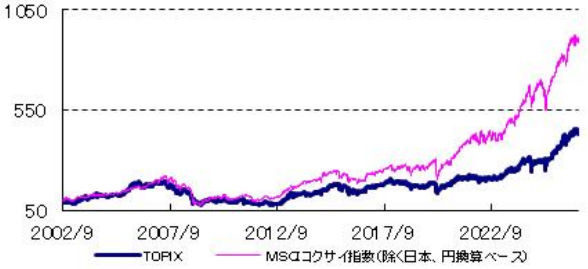
市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.19%	▲ 1.67%	6.76%	20.76%	105.10%
	TOPIX（東証株価指数）	▲ 3.49%	▲ 0.95%	6.38%	19.01%	75.93%
日本債券	NOMURA－BPI総合	1.76%	0.48%	▲ 0.65%	▲ 5.23%	▲ 9.22%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	0.78%	0.33%	5.24%	14.87%	89.25%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	1.34%	▲ 2.02%	▲ 2.81%	1.80%	22.57%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	0.12%	▲ 1.98%	▲ 1.78%	2.23%	5.37%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

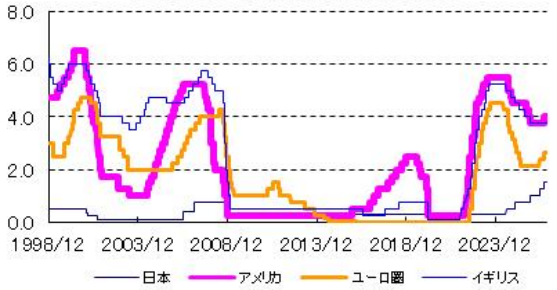


＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計
	株　式		債　券				投資信託	現預金その他	（百万円）
	日本	外国	日本	外国					
世界バランスファンド50 DI	●	●	●	●	DIAMグローバル・バランスファンド50VA＊	アセットマネジメントOne株式会社	97.8%	2.2%	1,224

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
DIAMグローバル・バランスファンド50VA＊	国内債券、国内株式、外国債券、外国株式への分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ中長期的に安定した収益の積み上げを目指します。基本資産割合（基本アロケーション）のもと、個別資産毎で各指数に連動するインデックス運用を行います。

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
DIAMグローバル・バランスファンド50VA	10.00%	25.00%	40.00%	25.00%

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−0.14%	−1.63%	0.63%	6.31%	36.86%	133.44%

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド50 DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・バランスファンド50VA（適格機関投資家限定）

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に、国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

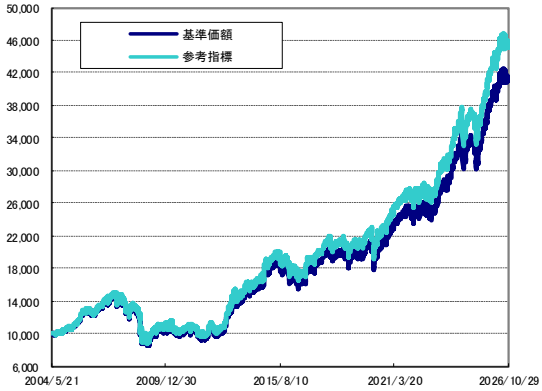
運 用 方 針

国内債券、国内株式、外国債券、外国株式への分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ中長期的に安定した収益の積み上げを目指します。基本資産割合（基本アロケーション）のもと、個別資産毎で各指数に連動するインデックス運用を行います。

2026年10月末までの運用経過

DIAMグローバル・バランスファンド50VA

基準価額の推移（税引前分配金再投資）



基準価額・純資産総額		
基　準　価　額	41,226	円
解　約　価　額	41,226	円
純　資　産　総　額	1,197	百万円

分配金情報（税引前） ※分配金は1万口当たり		
第20期　（2024.06.24）	0	円
第21期　（2025.06.23）	0	円
第22期　（2026.06.22）	0	円
設定来累計分配金	0	円

※直近3年分
※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	0.06%	-1.08%	1.91%	9.18%	48.47%	62.82%	312.26%
参考指標	0.04%	-0.98%	2.05%	9.70%	50.43%	66.36%	355.29%
差	0.02%	-0.09%	-0.14%	-0.52%	-1.97%	-3.54%	-43.03%

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内株式	24.5%	25.0%	-0.5%
国内債券	10.1%	10.0%	0.1%
外国株式	25.2%	25.0%	0.2%
外国債券	39.5%	40.0%	-0.5%
現金等	0.6%	0.0%	0.6%
合計	100.0%	100.0%	―

※各資産の組入比率は、先物を含んだ実質組入比率。
※株式には新株予約権証券を含む場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

作成基準日　2026年10月末

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド50 DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・バランスファンド50VA（適格機関投資家限定）

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に、国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

国内債券、国内株式、外国債券、外国株式への分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ中長期的に安定した収益の積み上げを目指します。基本資産割合（基本アロケーション）のもと、個別資産毎で各指数に連動するインデックス運用を行います。

＜各資産毎のポートフォリオ状況＞

（注）各比率は、各マザーファンドにおける資産毎の時価総額に対する比率です。従って、DIAMｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ﾊﾞﾗﾝｽﾌｧﾝﾄﾞ50VA
における組入比率とは異なります。

国内株式

組入上位５業種（東証３３業種分類）　（単位：%）

No.	業種	組入比率	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	差
1	電気機器	20.07	20.06	0.00
2	銀行業	11.96	11.96	0.00
3	卸売業	7.68	7.68	0.00
4	情報・通信業	6.36	6.36	-0.00
5	機械	5.28	5.28	0.00

※株式には新株予約権証券を含む場合があります（以下同じ）。

組入上位５銘柄

No.	銘柄	業種	組入比率（%）
1	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	3.77
2	トヨタ自動車	輸送用機器	2.65
3	リクルートホールディングス	サービス業	2.60
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.42
5	ソニーグループ	電気機器	2.33

（組入銘柄：1660銘柄）

*ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。

国内債券

組入全セクター

	組入比率	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	差
国債	88.50%	85.11%	3.38%
地方債	4.90%	5.84%	-0.94%
金融債	0.00%	0.29%	-0.29%
政保債	0.89%	1.20%	-0.31%
社債	4.95%	6.26%	-1.31%
円建外債	0.00%	0.28%	-0.28%
ＭＢＳ	0.77%	0.98%	-0.21%
ＡＢＳ	0.00%	0.05%	-0.05%
合計	100.00%	100.00%	-

※国債には、債券先物（10年物）が含まれる場合があります。

ポートフォリオの状況

	ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	差
平均複利利回り	2.57%	2.62%	-0.05%
平均クーポン	1.05%	1.10%	-0.05%
平均残存期間	8.84	10.07	-1.23
修正デュレーション	7.66	7.56	0.10
（先物等ヘッジ込み）	7.66	7.56	0.10

※国内債券マザーファンド(国内債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ･ﾌｧﾝﾄﾞ･ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ)の現金等を含みます。

（組入銘柄：600銘柄）

*ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸは、NOMURA-BPI総合です。

外国株式

組入上位１０ヵ国

No.	発行国	組入比率
1	米国	74.95%
2	カナダ	3.71%
3	英国	3.61%
4	スイス	2.72%
5	ドイツ	2.20%
6	フランス	2.08%
7	オランダ	1.85%
8	オーストラリア	1.66%
9	アイルランド	1.63%
10	スペイン	0.92%

※株式には新株予約権証券を含む場合があります（以下同じ）。

組入上位５業種

No.	業種	組入比率
1	半導体・半導体製造装置	13.81%
2	ソフトウェア・サービス	8.83%
3	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.81%
4	資本財	7.54%
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.45%

組入上位５銘柄

No.	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	5.97
2	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.72
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	4.36
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	大規模小売り	2.75
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	1.94

（組入銘柄：1083銘柄）

外国債券

組入上位１０ヵ国

No.	発行国	ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	差
1	米国	44.85%	44.55%	0.30%
2	中国	13.37%	13.45%	-0.08%
3	フランス	6.52%	6.35%	0.17%
4	イタリア	5.99%	5.92%	0.06%
5	英国	5.79%	5.84%	-0.04%
6	ドイツ	5.42%	5.36%	0.06%
7	スペイン	3.94%	3.95%	-0.01%
8	カナダ	2.12%	2.16%	-0.04%
9	韓国	1.92%	2.25%	-0.33%
10	ベルギー	1.36%	1.33%	0.03%

ポートフォリオの状況

	ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	差
平均複利利回り	4.05%	4.07%	-0.03%
平均クーポン	3.02%	2.99%	0.03%
平均残存期間	7.76	8.84	-1.08
修正デュレーション	5.91	6.08	-0.17

※外国債券マザーファンド(外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ･ﾌｧﾝﾄﾞ･ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ)の現金等を含みます。

（組入銘柄：1071銘柄）

*ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸは、FTSE世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(除く日本、円ﾍﾞｰｽ、為替ﾍｯｼﾞなし)です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド50 DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・バランスファンド50VA（適格機関投資家限定）

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に、国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

国内債券、国内株式、外国債券、外国株式への分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ中長期的に安定した収益の積み上げを目指します。基本資産割合（基本アロケーション）のもと、個別資産毎で各指数に連動するインデックス運用を行います。

今月のコメント

【国内株式】
国内株式市場は下落しました。上旬は、AI・半導体関連株への買いが優勢となり上昇した後、原油高が嫌気されて上げ幅を縮小しました。中旬以降は、米新興AI企業の資金調達とAI過剰投資への懸念からAI・半導体関連株が売られ、下落しました。

【国内債券】
国内債券市場では、10年国債利回りは低下しました。上旬は、米金利の高止まりや根強い国内のインフレ圧力への懸念から高水準で推移した後、米金利低下に伴い低下しました。中旬以降は、AI関連株安を受けたリスク回避の国債買いなどから、一段と低下しました。

【外国株式】
外国株式市場は米欧でまちまちな動きとなりました。上旬は米国の雇用統計を受けてFRB（米連邦準備理事会）の利上げ観測が後退し、上昇しました。中旬以降は米欧ともに、米新興AI企業の資金調達とAI過剰投資への懸念からAI・半導体関連株が売られ、ヘルスケア株など他業種が買われましたが、狭いレンジでの推移となりました。

【外国債券】
外国債券市場では、10年国債利回りはフランスを除き多くの国で低下しました。米国では、上旬は米景気の底堅さが示される中で利回りは高水準で推移した後、中旬以降はAI・半導体関連株安に伴うリスク回避の国債買いから低下しました。欧州ではフランス財政に対する懸念が高まる中で、フランス国債が売られる一方、安全資産需要からドイツ国債が買われるなど、フランス以外の多くの国の利回りは低下しました。

【為替】
ドル/円相場は、月前半は中東情勢緊迫化の懸念や原油価格の上昇から円安ドル高が進展しましたが、その後、下旬にかけてAI関連の巨額設備投資への懸念などから安全資産として円が買われて円高ドル安に進み、月を通しては横ばいでの推移となりました。ユーロはドルおよび円に対して下落しました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。